

## 海拔0mからと五合目からの富士登山（十周年記念企画）山行報告

1. 目的地 : 富士山 (3,776m)
2. 日程 : 2009年9月11日(金)~13日(日)
3. 天候 : 11日晴れ 12日曇り時々雨 13日晴れ(午前中強風)
4. 参加者&配車: 参加者10名(男性9名・女性1名)

海拔0m組	男性4名	女性1名
五合目組	男性5名	

5. 参加費 : 0m組 19,400円(宿泊費・高速料金・ガリ代・運転手謝礼・入浴代・事故保険金等)  
五合目組 10,800円(同)

### 6. コースタイム:

- 11日 マリンプール駐車場 ~ 田子の浦 ~ 吉原市街 ~ 広見公園 ~ 次郎長町 ~ 元村山: 村山ジャンボ(泊)  
8:20 15:30
- 12日 村山ジャンボ ~ 富士山麓山の村 ~ 中宮八幡堂跡 ~ 笹垢離跡 ~ 富士宮口六合目: 雲海荘(泊)  
4:00 8:00 10:00 14:20
- 五合目組 新五合目駐車場 ~ 富士宮口六合目: 雲海荘で0m組と合流  
15:30 16:00
- 13日 雲海荘 ~ 富士宮口頂上 ~ 剣ヶ峰 ~ お鉢回り ~ 富士宮口頂上 ~ 雲海荘 ~ 新五合目駐車場  
2:50 8:30~9:00 9:30~10:00 11:00 13:30~14:10 14:30

7. 標高差: 11日: 登り500m 12日: 登り2000m(五合目組登り100m) 13日: 登り1276m 下り1376m

8. 周辺情報 : 富士マリンプール駐車場は、駐車するのに予め許可証を取り寄せる必要あり。

### 9. 山行状況:

1日目: 田子の浦で太平洋の水にタッチしていざ出発。これから登ろうとする富士山が遠くに見える。2kmほど海岸沿いに歩いて右側の住宅街に入ると「富士塚」がある。富士塚はむかし富士登山をする人が安全を祈願して海岸の石を一つずつ積み上げたものだという。我々もここで安全祈願。東海道線吉原駅を通り越し、江戸時代の景勝地「左富士」を見て、吉原の中心街を抜け、右に曲がると、いよいよ登り坂になる。広見公園で昼食。広見公園を過ぎると茶畑なども出てきて住宅もまばらになる。少し行くと「左むら山道」と読める石の道しるべがある。江戸時代のものらしい。これで村山古道らしくなる。元村山までにはこのような石の道しるべが幾つか残っている。途中、コンビニの外でアイスをほおぼっていると、ザックを背負った10人位のパーティが到着した。もしかしてこの人達も富士山へ、と思って話しかけてみたら、やはりそうだった。「あさぎり山の会」の創設20周年なので、記念に海拔0mからの富士登山を企画したという。考えることは同じですねと笑いあった。このあと清水次郎長が先頭にたって開墾したという次郎長町を通って元村山に着く。標高500m。「富士根本宮村山神社」にお参りして村山ジャンボに泊まる。

2日目: 出発してしばらくは人工林の中の村山古道を進む。道が細く、林道で分断されているため分かり難い。大ケヤキのある札打場跡を通り、天照教社を過ぎると車道を横切る(標高1000m)。やがて広葉樹林の中に大きなログハウスが幾つもある「富士山麓山の村」が現れる。ここで休んでいると雨が降り出した。この先、広葉樹林の中をしばらく登ると「中宮八幡堂跡」に着く。石の祠がある。本降りの雨はここまでであとは小雨が降りたり止んだり。この先で道が分からなくなってしまい、結局ヤブこぎで突破して富士スカイラインに出る。村山古道はこの車道を右に200mほど登ったところを横断している。さらに登っていくと、右からUターンしてきた富士スカイラインをもう一度横切る。村山古道は傾斜が徐々にきつくなり、やがて石地蔵や不動明王がある「笹垢離跡」に出る(標高1860m)。ここで昼食をとっていると「あさぎり山の会」が登ってきたので、しばし交歓。ここからはさらに傾斜がきつくなる。針葉樹林帯の中をゆっくり登ると、新五合目から宝永山噴火口へ行く水平道に出る。そのまま真っ直ぐ登ると間もなく森林限界を抜けるが、濃いガスで何も見えず、風も強い。やっとの思い出六合目「雲海荘」に着く。五合目組はこのあと新五合目駐車場から登ってきて合流。

3日目: 強風。でも歩ける程なので、途中岩陰で休みをとりながらゆっくり登る。八合目を過ぎると風は徐々に弱まってきた。途中、朝日が昇ってきたが、東に雲がかかっている、すっきりとしたご来光は拝めなかった。きつい登りをしたのでようやく富士宮口頂上に着くと、風はおさまり、快晴。お茶やコーヒーを飲んでから、いざ剣ヶ峰へ。ついに3776mの頂上に立つ。素晴らしい眺望が待っていた。昨日の雨、今日の強風に悩まされたが、全員登頂できて感慨ひとしお。会長はこれで念願の「日本三百名山」を達成、おめでとうございます。このあと体力に余裕のある人はお鉢まわりをして下山。下山の途中でまた「あさぎり山の会」と出会い、お互いのホームページを紹介し合う。

10. 写真 :

田子の浦



富士塚



村山古道の石の道しるべ



あさぎり山の会と一緒に



村山古道標高1860m地点のお地藏様



富士山頂上にて

